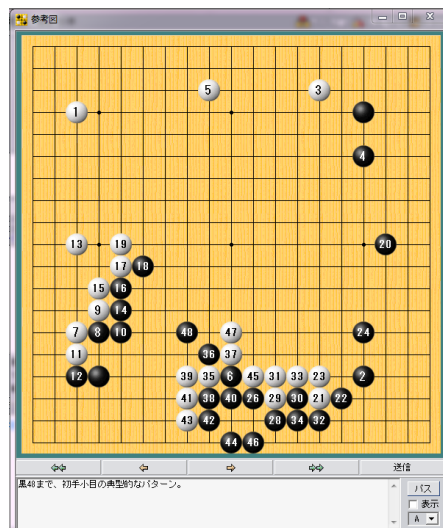


32. 下辺左側の白を生かさない対応（その後の検討）

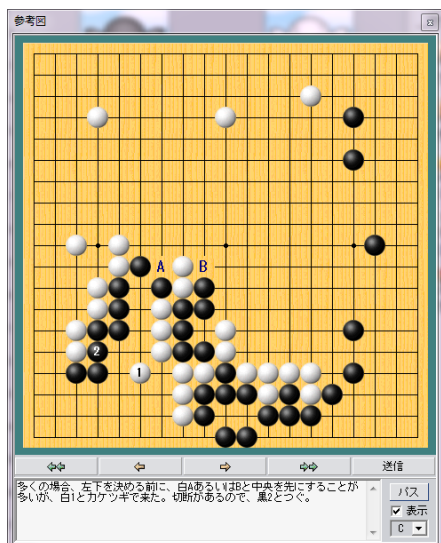
32-1: その後の検討 1

52-1 図（再掲）のように、必勝と思われる典型的な展開の後に、左下での対応に失敗し、負けることがあったので検討してみた。

【52-1 図】（再掲）



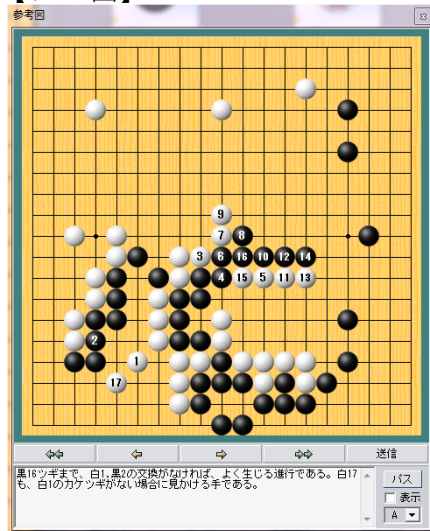
【72-1 図】



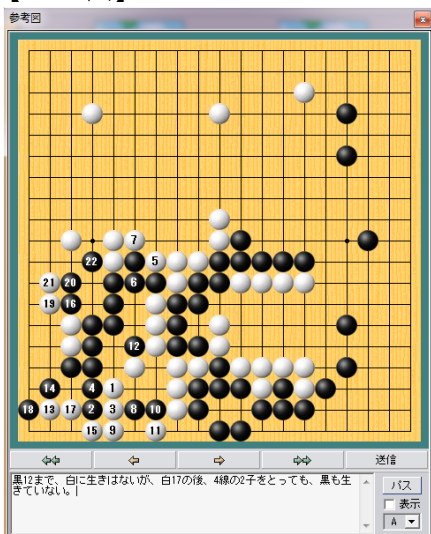
【72-1 図】 白初手が星であったが、ほぼ 52-1 図と同じ進行である。多くの場合、左下を決める前に、白 A あるいは B と中央を先にすることが多いが、白 1 とカケツギで来た。ツケノビの切断があるので、黒 2 とつぐ。

【72-2 図】 黒 16 ツギまで、白 1、黒 2 の交換がなければ、よく生じる進行である。白 17 も、白 1 のカケツギがない場合によく見かける手である。しばらく、実戦の進行を示す。

【72-2 図】



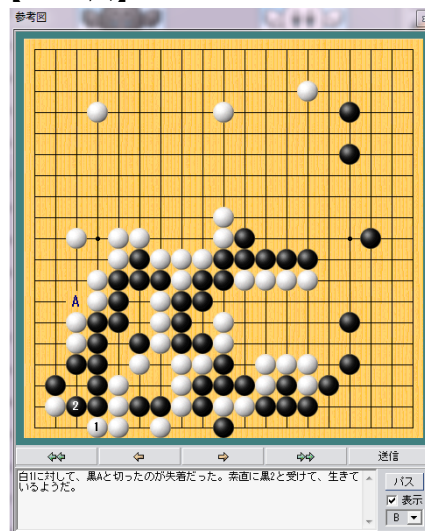
【72-3 図】



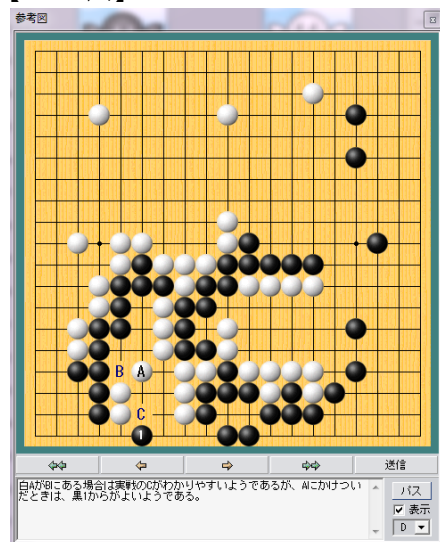
【72-3 図】 黒 12 まで、白に生きはないが、白 17 の後、4 線の白 2 子をとっても、黒も生きていない。黒 16 キリが失着だったようだ。また、黒 8 からの手順以外の対応もありそうである。

【72-4 図】 白 1 に対して、黒 A と切ったのが失着だった。素直に黒 2 と受けて、生きているようだ。黒が生きることにより、下辺左側の白は全滅する。黒 A のキリに白が備えと、黒は先手を得て、左上隅に向かうことができそうである。

【72-4 図】

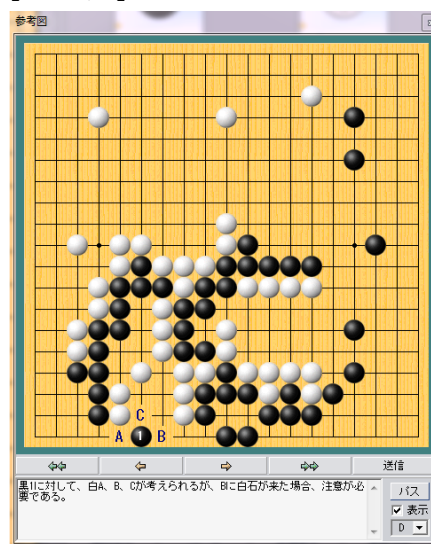


【72-5 図】



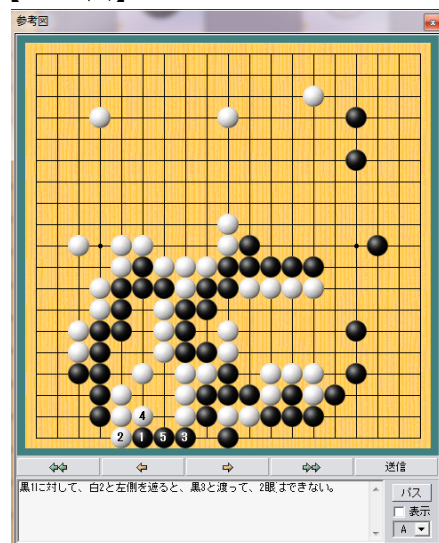
【72-5 図】 白 A が B にある場合は実戦の C (73-2 図 黒 8) が分り易いが、白 A にかかけついだときは、黒 1 からの対応も考えられる。

【72-6 図】



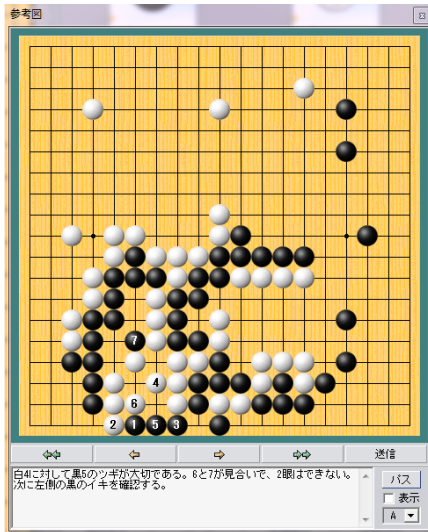
【72-6 図】 黒 1 に対して、白 A、B、C が考えられるが、手順は違っても B に白石が来た場合、注意が必要である。白 A から、順に検討してみる。

【72-7 図】



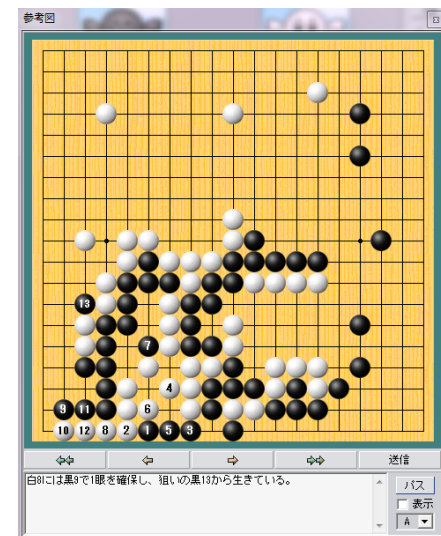
【72-7 図】 黒 1 に対して、白 2 と左側を遮ると、黒 3 と渡って、2 眼はできない。白 4 では他の手も考えられるので検討した。

【72-8 図】



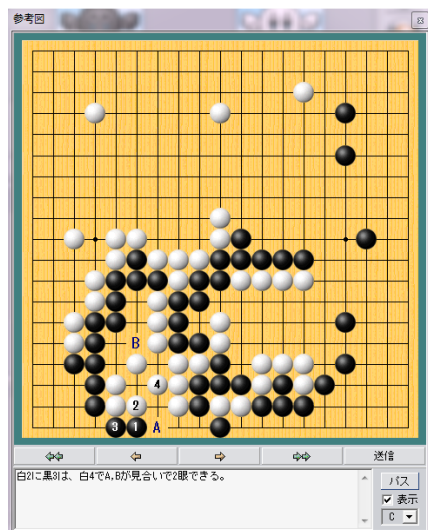
【72-8 図】 白 4 は 5 に放り込んだときの追い落としを狙っている。このとき、下辺の白 2 子が盤上に残っている方が白にとって好都合になっている。黒 5 のツギが大切である。6 と 7 が見合いで、2 眼はできない。次に左側の黒のイキを確認する。先に書いているが、黒はイキを優先し、下辺左側の白との攻め合いになることは避けたい。

【72-9 図】



【72-9 図】 白 8 には黒 9 トビから 1 眼を確保し、狙いの黒 13 キリで生きている。

【72-10 図】



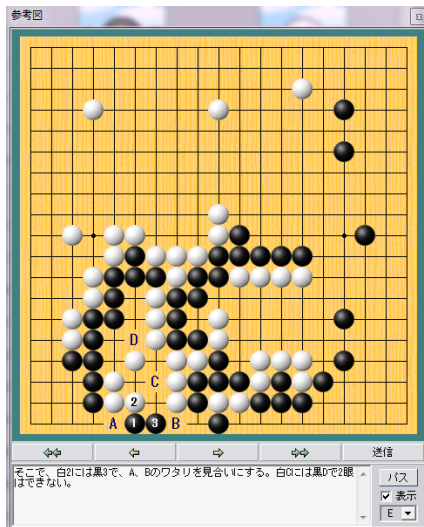
【72-10 図】 白 2 に黒 3 は、白 4 で A、B を見合いにして 2 眼できる。

【72-11 図】



【72-11 図】 黒 3 も白 4 で白 A からのオイオトシと白 B を見合いにして 2 眼を作られる。このオイオトシの際、下辺の白 2 子が盤上に残っていると黒 A ツギの後の白の抜きが黒 6 子のアタリになる。

【72-12 図】



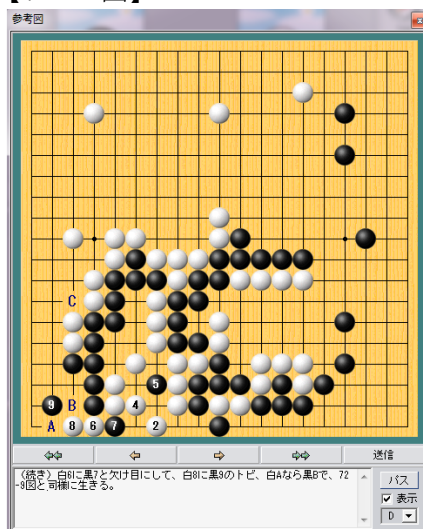
【72-12 図】そこで、白 2 には黒 3 で、A、B のワタリを見合いにする。白 C には黒 D で 2 眼はできない。白 A、黒 B の場合は 72-8 図と同様な手順で生きるし、黒 A と渡ると、72-8 図より生きるのは容易である。

【72-13 図】



【72-13 図】白 2 と右から押さえてきたときに、最も複雑である。黒 3、白 4 のとき、黒 5 のオキが必要な手順である。

【72-14 図】

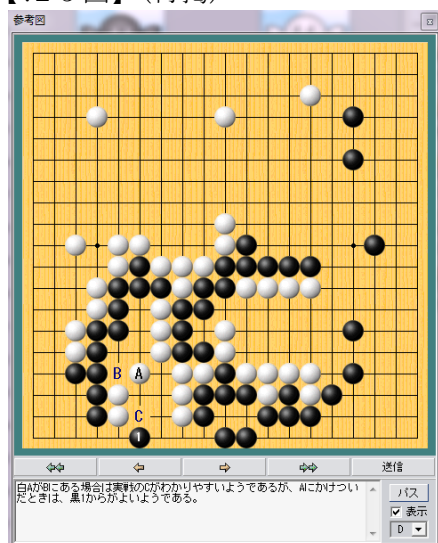


【72-14 図】（続き）白 6 に黒 7 と欠け目にして、白 8 には黒 9 のトビ、白 A なら黒 B で、72-9 図と同様に生きる。

結論として、【72-1 図】の白 1 のカケツギに、黒はツケノビをカタツギして、白に生きはなく、黒は生きている。

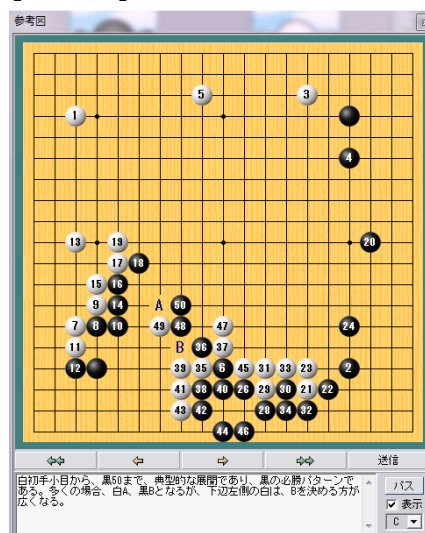
32-2: その後の検討 2

【72-5 図】（再掲）



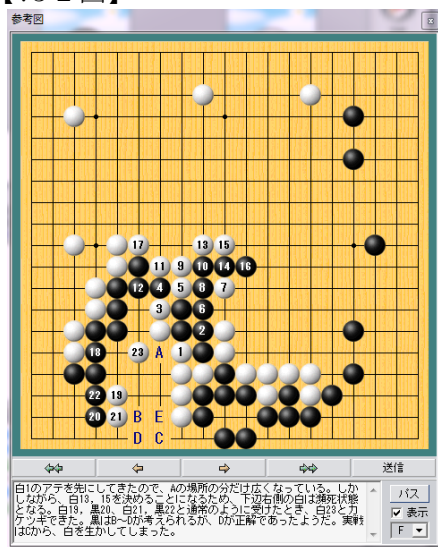
72-5 図の黒 1 の位置が急所であったケースを紹介する。

【73-1 図】



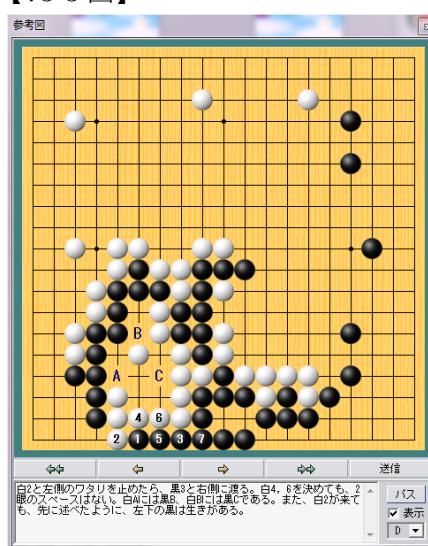
【73-1 図】 白初手小目から、黒 50 まで、典型的な展開であり、黒の必勝パターンである。多くの場合、白 A、黒 B となるが、下辺左側の白は、B を決める方が広がる。

【73-2 図】



【73-2 図】 白 1 のアテで、A の場所の分だけ広がっている。しかし、白 13, 15 を決めることになるため、下辺右側の白は瀕死状態となる。白 19, 黒 20, 白 21, 黒 22 と通常のように受けたとき、白 23 とカケツギできた。黒は B~D が考えられるが、D が正解であったようだ。実戦は C から、白を生かしてしまった。

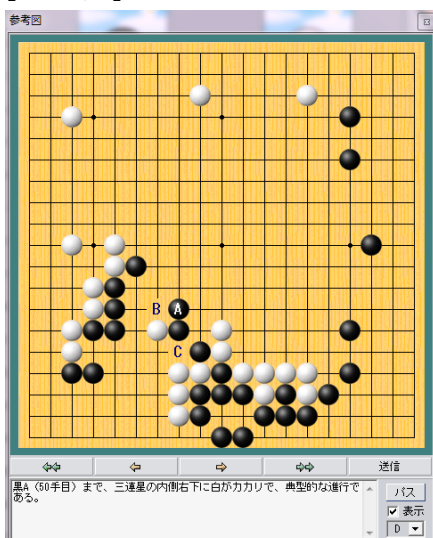
【73-3 図】



【73-3 図】 白 2 と左側のワタリを止めたなら、黒 3 と右側に渡る。白 4, 6 を決めても、2 眼のスペースはない。白 A には黒 B、白 B には黒 C である。また、白 2 が来ても、先に述べたように、左下の黒には生きがある。

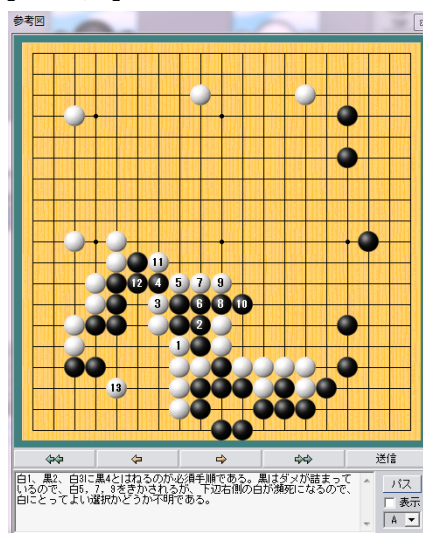
32-3: その後の検討 3

【74-1 図】



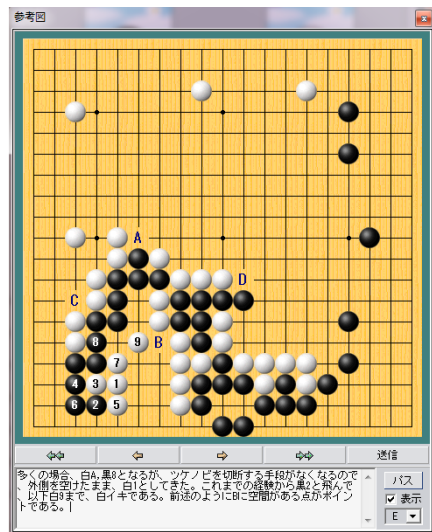
【74-1 図】「32-2: その後の検討 2」で示した 73-1 図白 B 以降で、異なる手順を経験したので考えてみる。黒 A（50 手目）まで、三連星の内側右下に白が力かりで、典型的な進行である。この後、白 B、黒 C となる場合が多いが、白 C とされて、下辺左側の白に生きられることを何度か経験した。

【74-2 図】



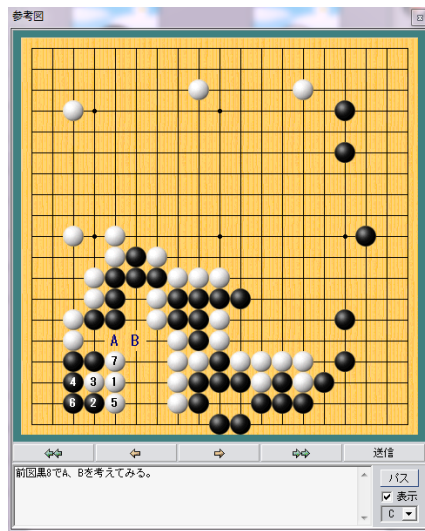
【74-2 図】白 1、黒 2、白 3 に黒 4 とはねるのが必須手順である。黒はダメが詰まっているので、白 5、7、9 をきかされるが、下辺右側の白が瀕死になるので、白にとってよい選択かどうか不明である。白 11、黒 12 のあと、黒の外を止めるのではなく、白 13 からの手順となった。

【74-3 図】



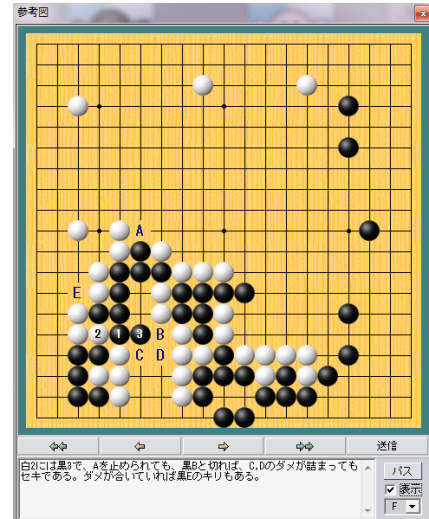
【74-3 図】多くの場合、白 A、黒 8 となるが、ツケノビを切断する手段がなくなるので、外側を空けたまま、白 1 としてきた。これまでの経験から黒 2 と飛んで、以下白 9 まで、白イキである。前述のように B に空間がある点がポイントである。この後、黒 C と切っても、3 線の二子を後手で取ることになるので、黒 D と曲げて、下辺右側の白を丸呑みにすることを考える。なお、左下の黒は中央 A と止められたら、C と切って、イキを確保する。さて、下辺左の白を生かさない手順があるだろうか。

【74-4 図】



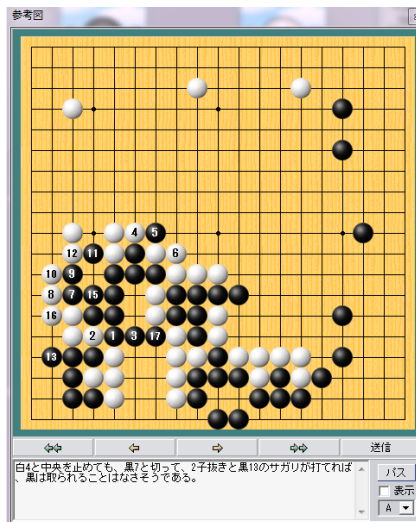
【74-4 図】 前図黒 8 で A や B を考えてみる。どちらも、ツケノビの間を切断される可能性があるが、下辺左側の白のスペースは狭くなる。まず、A から考える。

【74-5 図】



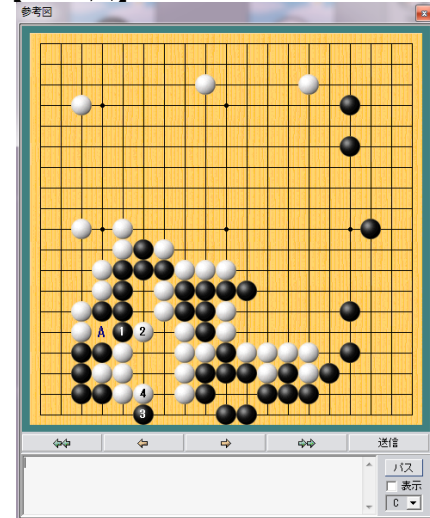
【74-5 図】 白 2 には黒 3 で、A を止められても、黒 B と切れば、C、D のダメが詰まってもセキである。ダメが空いていれば黒 E のキリもある。

【74-6 図】



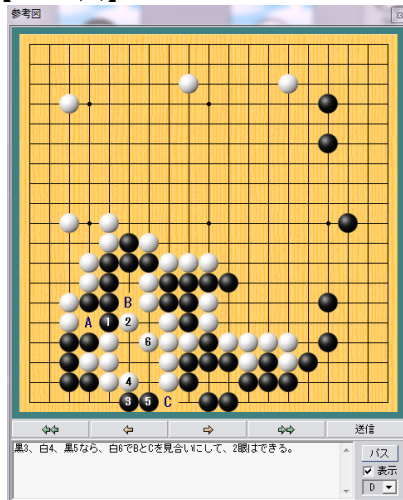
【74-6 図】 白 4 と中央を止めても、黒 7 と切って、2 子抜きと黒 13 のサガリが打てれば、黒は取られることはなさそうである。下辺左側の白はそのまま死んでいるようだ。

【74-7 図】



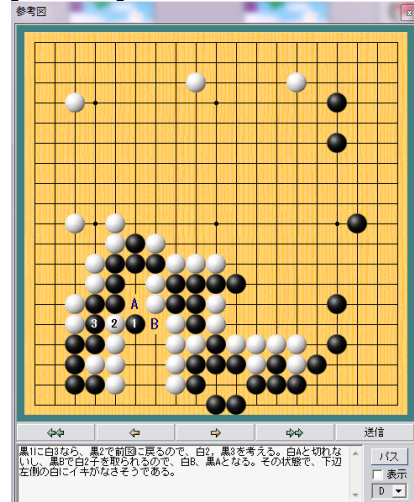
【74-7 図】 黒 1 に対して、白 2 と右側に押さえたとき、黒 A のツギは【74-3 図】からダメをツメただけで、1 手パスである。そこで、白の眼取りで、黒 3 (73-2 図 D) ではどうか。

【74-8 図】



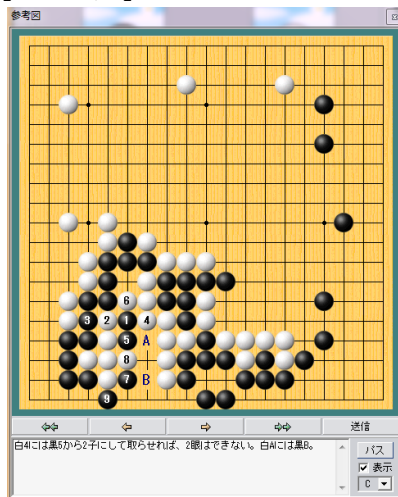
【74-8 図】 黒 3、白 4、黒 5 なら、白 6 で B と C を見合いにして、2 眼はできる。すなわち、黒 1 (74-4 図黒 A) では、左辺左の白を取ることはできない

【74-9 図】



【74-9 図】 そこで 74-4 図 B (本図黒 1) を考える。黒 1 に白 3 なら、黒 2 で 74-5 図に戻るので、白 2、黒 3 を考える。白 A と切れないし、黒 B で白 2 子を取られるので、白 B となる。

【74-10 図】



【74-10 図】 白 4 には黒 5 から 2 子にして取らせれば、2 眼はできない。白 A には黒 B。黒 1 に対して、白 2 以外の手も、黒 2 でうまくなさそうである。結論として、74-3 図黒 8 ではなく、黒 9 (本図黒 1) で下辺左側の白にはイキがないようである。左辺左側の白に確定したイキがないのであれば、74-2 図白 1 のアテは右側の白に悪影響するので、保留する方がよいと考えられ、GoTrend 君もほとんどの場合選択しない。